

# サマリア 2026：知財実務の「読解支援」から「一貫支援プラットフォーム」への進化

## 知財業務フローを網羅する機能連鎖



### 1. 調査・検索式作成

2025年末にリリースされた調査支援機能により、目次改・読解証明を対象とした先行技術調査・クリアランス調査に対応。



### 2. 分類・AI定量分析

定性的な読解だけでなく、母素綯を担うAI定量分析とレポート機載により、調査報告の自動化を促進。



### 3. 拒絶対応・書面作成

応答方針コメントの生成や、見書・修正書案の自動ドラフト作成により、弁理士の利便業務を強力に支援。



### 4. 発明創出・明細書作成

発明履歴書から社様を構造化し、明細書の脊子を自動生成する。2026年上中期の最重要アップデート。

## 進化の源泉：独自技術と特許ポートフォリオ

### 特許第7542812号： タスク別抽出制御

特許タスク（分類、判定など）ごとに、文書のどの部分をLLMに渡すべきかを最適化する技術。



### 生成AI中心設計（AIネイティブ）

レガシーなデータベースにAIを後付けしたのではなく、AIエージェントによるワークフローの自動化を前提に設計。

### 特許第7744712号： 発明構造化技術

発明提案書から意図と関係性を抽出し、クレームや明細書へ検索可能なデータへと変換する中核権利。



## ビジネスモデルと実務的インパクト

### 業務効率の劇的な向上（試算）

拒絶理由通知の初期分析 **30~50%** 工数削減

先行技術調査の前処理 **20~35%** 工数削減

### 導入しやすい多段階価格プラン

フリープランからコーポレート（月額25,000円〜）まで、組織規模に応じた透明性の高い価格設定。

<b>フリー</b> 0円 (月額) 試用・弊案盤向け	<b>ミニマム</b> 8,000円 (月額) 家庭導入の最小単位	<b>ビジネス</b> 15,000円 (月額) 拒絶対応交際などの本格運用	<b>コーポレート</b> 25,000円 (月額) 総機利用・高宿機能利用
--------------------------------------	--	---	---

## 2026-2027 ロードマップ



### 2026年秋： 相継リンク表示

AIの出力結果に、相継となる文脈の読解や図面を高速読付け、懸念性を向上させる。



### 2026年末： パテントファミリー・グラフ

発明管理から、引用関係やファミリー情報を活用したナレッジグラフ活用へ進化。



### 2027年前半： マルチモーダル解析

特許図面、表、論文PDFなどの発定型データ解析を申請化し、他社との差別化を決定づける。